

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	芦屋市立 潮見小学校	研究チーム名 (民舞表現運動研究チーム)
	職・氏名 教諭 菅原 淳也	

研究テーマ分類番号 (6)

(1) 研究テーマ
日本各地で踊り継がれている民族舞踊の楽しさや、その歴史・価値について学び、運動会等での表現運動の取組や地域との交流の場にかし、指導力向上を目指す。
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>11 月現在、今年度もチーム内や地域で活動を広げながら、様々な方に民舞のよさや楽しさを知っていただくことができた。また、私たち構成員の力量の向上にもつながる活動ができています。以下、具体的な取り組みを挙げる。</p> <p>民舞表現運動の学習会・練習会</p> <p>「よさこいソーラン」「南中ソーラン」(北海道)「花笠音頭」(山形県)「エイサー」(沖縄県)についての練習会を、計 7 回にわたり実施。その踊りの生まれた背景や人々の願い、歴史を学ぶとともに、実際にその踊りの練習を重ねることによって、民舞表現運動の楽しさを実感することができた。</p> <p>研修会参加等による新しい踊りの発掘及び研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月「徳島阿波踊り」見学 <p>新しい踊りの研究として、「徳島阿波踊り」を実地見学した。観光客の多さや全国からの踊りへの参加の様子などから、地域に伝わる踊りの歴史や、踊りの持つ意味を実感することができた。地元企業や町ぐるみで踊りに参加する様子は、伝統的な踊りが地域を一体化させていくという、踊りが持つ力の表れのひとつであるといえる。</p> 9 月「神戸よさこい祭り」見学 <p>「よさこいソーラン」の隊形や、観客への踊りの見せ方の参考となる事例が多々あり、参加チームも大学生が中心であり、若く生き生きとした踊りで観客を魅了していた。ここ最近の民舞ブームを感じることができた。</p> <p>各校運動会・文化祭での表現運動の取り組み</p> <p>今年度(平成 22 年度)の運動会・文化祭でも研究チームの構成員が各校で「よさこいソーラン」「南中ソーラン」「花笠音頭」「エイサー」等を表現運動として取り入れ、指導することができた。市内各校において、民舞表現運動が運動会・文化祭の定番として取り入れられ、地域・保護者の好評を得ている現実には、チームとしても活動のやりがいを感じている。同時に、研究チームの構成員以外の先生方にも、民舞運動への取り組みが広がりつつあり、民舞運動の持つ意味が認知されつつあると感じている。また、各校取り組みの交流会を 10 月に実施。各校の映像を通して交流することによって、民舞表現運動研究チーム全体のものとすることができた。</p> <p>保育所との交流および運動会見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 月 精道保育所「よさこいソーラン」指導および交流 <p>保育所からの依頼があり、よさこいソーランを指導した。子どもたちとはもちろんであるが、小学校と保育所の教師同士の交流が図れたことが大きな収穫となった。ここでも民舞を楽しそうに踊る子どもたちと接して、踊りの持つ力を実感することができた。</p> ・ 10 月 精道保育所運動会見学 <p>7 月の指導後、保育所で取り組んできた「よさこいソーラン」の発表の場を見学した。実際に踊る子どもたちの勇ましい姿や、周りで見ている子どもたちの曲を口ずさむ姿から、保育所をあげて取り組んできた様子が伺えた。今回のこの保育所との交流は、私たち民舞表現運動研究チームの構成員にとっても大きな取り組みのひとつであり、よい学習の場となった。今後もこういう機会を大切にしていきたい。</p>